

「桜染め体験会」ボランティア活動報告

- ◇報告者 / 教育学科 4年:佐藤 洸太郎 (広島文教大学文芸学人)
- ◆日時 / 2026年2月12日(土)13:00~16:00
- ◆場所 / 高陽公民館 実習室(安佐北区深川5丁目13-12)
- ◆目的 / 桜を守り育てる(樹木保護活動)のために剪定された桜の小枝や樹皮を使った桜染めを学ぶことで、桜の木の再利用の面白さに関心を持ち、今後地域に向けて行う桜守の啓発活動の参考にする。
- ◆参加者 / 12名 (高陽公民館職員:2名 ひろしま人と樹の会会員:3名、文教大学生:6名 教職員:1名)

<活動内容>

- 桜染め講話と木綿のハンカチの染色 (スケジュール)
- 12:30 受付
- 13:00 オープニング挨拶、講師のご紹介
- 13:10 作業についてのお話
- 13:40 作業(染料づくり、染色、仕上げ)
- 15:40 片づけ、クロージング挨拶
- 16:00 作業終了、振り返り、解散



(参加者アンケートより抜粋)

Q. 参加して良かった理由は？

- ・自分にとってとても貴重な経験となったから
- ・スムーズでみんなが楽しく参加できました
- ・普段は難しい経験ができて良い
- ・初めての体験、得た知識、グループ間交流どれも最高でした
- ・楽しかった。今までにない体験ができた。

Q. 体験会に参加してみても一言

- ・これからも様々な体験や活動をしてみたい
- ・学校のシンボルである桜をこれからも美しく咲かせてほしいです
- ・自然保護活動により興味がわいた
- ・桜についての興味が深まった
- ・実際に活動すると自然に関わっているという実感が持てる
- ・予定があえば参加したいと思う



(学生の感想)

- 今後の活動を通して、桜染めについて学ぶこと、そして体験することができました。染液が以外と飲めなくもなく、健康にもいいことが分かって、これらを活用して何かできるのではないかと思います。これからも今回の学びを活かして、活動していきたいです。
- 染め物は、就学前の絞り染めしかやったことがなく、興味はあっても気軽に体験できるものではないとあきらめていたのですが、今回の体験を経て、モノ作りは楽しいと思うことが出来、参加して良かったと思いました。
- 染液を実際に飲むことができ、どんな味なのかを知ることができて楽しかったです。どんな様子で染まっていくのかを間近で観察することができて、これから先また染色体験をしてみたいと思いました。
- 多人数ではできない細やかで丁寧な内容で楽しい時間でした。